

脊髄モニタリング認定医 Q&A

【受験資格】

Q1 日本脊椎脊髄病学会 会員ではありませんが、日本脊椎脊髄病学会のモニタリング認定医の資格は取得できますか

A1 日本脊椎脊髄病学会の会員以外は取得できない資格です。また取得時に会員であっても、学会を退会した場合は、資格を失うこととなります。

Q2 日本脊椎脊髄病学会学会員になって日が浅いのですが、モニタリング認定医の資格に興味があります。セミナーと試験に申し込んでよいのでしょうか。

A2 セミナーと試験の申し込みに、「会員歴」は問いません。

Q3 いままでに日本脊椎脊髄病学会のモニタリングハンズオンセミナーを受講したことがあります。受験資格はありますか。

A3 2021年から新たに創設する資格になり、セミナーと試験が同日に設定されていますので、試験だけを受けることはできません。再度春の研修コースⅣか秋のモニタリングハンズオンセミナー+試験を受けてください。また、資格を取得するにはセミナー+試験のあとに、認定申請をする必要もあります。毎年6月に認定申請、結果を理事会で承認し、10月に認定となりますので、セミナー・試験・認定申請すべてを受けていただき、また試験と認定申請はともに合格することで資格が得られます。

Q4 私は日本脊椎脊髄病学会 特定会員で医師ではありません。モニタリング認定の資格は取得できますか。

A4 医師であれば受験は可能ですが、脊椎脊髄外科専門医の資格が必要です。

(2023年までの移行期間中は、本学会認定脊椎脊髄外科指導医もしくは、日本脊髄外学会認定脊髄外科指導医もしくは日本脊髄外学会認定脊髄外科認定医も受験可能です。)

Q5 日本脊椎脊髄病学会 会員ですが整形外科医ではありません。モニタリング認定の資格は取得できますか。

A5 医師であれば受験は可能です。

【資格の性質】

Q6 日本脊椎脊髄病学会認定のモニタリング認定医の資格がなければ、モニタリングを行うことができなくなるのでしょうか。

A6 資格がなくても行えますので、ご安心ください。

Q7 日本脊椎脊髄病学会認定のモニタリング認定医の資格がなければ、保険診療を行うことができなくなるのでしょうか。

A7 資格がなくても行えますので、ご安心ください。

Q8 日本脊椎脊髄病学会認定のモニタリング認定医の資格はどういった主旨で創設された資格ですか。

A8 近年、脊椎難治性疾患をはじめとする安全な脊椎脊髄手術にむけて、脊髄モニタリング施行が推奨されています。脊髄モニタリング施行には深い知識・経験・見識を有していること、適切な波形判断と安全管理が必要であること、さらに日本脊椎脊髄病学会では脊髄モニタリングへの研修・認定の必要度が高まっていることから、「脊髄モニタリング認定医」制度を新設することが2020年10月の理事会で承認されました。

【認定されるまでにかかる費用】

Q9 認定されるまでに必要な費用を教えてください。

A9 総額で38,000円です。

内訳は

受講料+受験料：

当学会の学術集会最終日に行われる研修コースⅣと試験 18,000円

または

秋に全国の指定施設で行われるモニタリングハンズオンセミナーと試験 18,000円

認定申請料：10,000円

合格した場合の登録料：10,000円

となります。

Q10 6月の認定申請をしましたが、やっぱり取りやめたいです。料金は返金されますか。

A10 一度ご納入いただいた受講・試験・認定申請などの費用は、いかなる理由でも返金いたしません。悪しからずご了承ください。

Q11 セミナーに申し込んでいたのですが、急きょ都合がつかなくなったので、同僚で申請を失念していたものに受講資格を譲りたいのですが、可能ですか。または費用を返金してほしいのですが。

A11 受講や受験資格を他人に譲ることはできません。また返金はいかなる理由でも対応しておりません。

【認定までの流れ・試験の形式】

Q12 どのような流れで受験が可能になるのでしょうか。

A12 当学会学術集会最終日に行われる研修コースⅣを受講して試験を受験されるか、秋に全国の指定施設で行われるモニタリングハンズオンセミナーを受講して試験を受験されるかで多少流れが違いますが、6月に認定申請し合格→10月に認定は変わりません。まずは研修コースⅣか秋のセミナーに応募してください。

Q13 セミナー（または研修コースⅣ）後の試験には合格し、6月に申請をしましたが、不合格だった場合、再度セミナー（または研修コースⅣ）を受けなければなりませんか。

A13 セミナーの再受講および再試験は不要です。翌年6月に向けて各書類を整え、再申請してください。

Q14 試験はどのような形式ですか。

A14 マークシートによる30問のマルチプルチョイス形式です。

Q15 試験対策になるような問題集は販売していますか。

A15 現在のところ販売しておりません。セミナーのなかで試験問題にもかかわる講義をしますので、しっかり聴講してください。

Q16 研修コースⅣを受講受験し、合格しました。次は認定申請だと思いますが、締め切りに間に合いませんでした。翌年申請しても問題ありませんか。

A16 問題ありません。毎年6月に認定申請を受け付ける予定です。

【研修コースⅣについて】

Q17 申込みはどこで行えますか。

A17 他の研修コース（Ⅰ～Ⅲ）と一緒に行われます。ホームページ上のピンク色のバナー（以下は第18回研修コースのバナー。この回数は毎回変わります）が目印ですが、申し込み自体はマイページ内から「会員限定」ボタンを押して、申し込みます。



Q18 研修コースⅣの申し込みについて不明点があるのですが、モニタリング認定医事務局へ問い合わせればよいでしょうか。

A18 研修コースⅣは、モニタリング認定医事務局ではなく研修コース事務局（現状はコングレ）が行っています。ピンク色のバナーから、問い合わせ先を見つけてください。

Q19 研修コースⅣは定員いっぱいということでした。なんとか受験を早めたいのですが、どうすればよいでしょうか。

A19 8月にモニタリング認定医ホームページ内で、秋に行われる全国指定施設でのモニタリングハンズオンセミナーの受講者を募集する予定です。こちらにも定員がありますので、早めの申し込みをお勧めします。このセミナーに申し込めれば試験を受けることは可能です。ただし、この秋のモニタリングハンズオンセミナーを受講し試験を受けた場合、認定申請ができるのは、次の年の6月となります。

Q20 研修コースⅣに特別な持ち物はありますか。

A20 受講にはとくにはありませんが、講習終了後、ほぼすぐに試験となりますので、筆記用具ほか、試験に必要なものは持参してください。

また、本人確認のため、本人確認が出来る顔写真のついた運転免許証あるいは日整会会員証などを必ず持参してください。

Q21 研修コースⅣは当日申し込みできますか。

A21 試験があり、受験者を確定する必要がありますので、事前受付のみとなっています。

Q22 研修コースⅣの費用は当日現金で払えますか。

A22 事前受付のみで、クレジットカード決済のみとなります。

Q23 研修コースⅠ～Ⅲを受講することで、Ⅳのあとに行われる試験は受験できませんか。

A23 研修コースⅣを受けた方だけが、研修コースⅣのあとの試験を受験できますので、Ⅰ～Ⅲコースの受講では受験できません。

【秋のモニタリングハンズオンセミナーについて】

Q24 申込はいつごろから開始される予定ですか。

A24 2021年は8月を予定しています。「事務局からのお知らせ」ニュースレターなどでもお知らせを予定しています。

Q25 秋のモニタリングハンズオンセミナーの各施設の定員は何名ですか。

A25 施設によって定員が異なります。またコロナウイルスの影響もありますので、現時点では何名と正確に回答できかねます。各施設数名までと考えてください。

Q26 秋のモニタリングハンズオンセミナーを受講する場合事務局等で、交通や宿泊などの手配をしてもらえるのでしょうか。

A26 各個人でお願いいたします。

Q27 秋のモニタリングハンズオンセミナーを受講できる全国指定施設は、どこでしょうか。

A27 2020年現在は、以下14施設です。追加等がある場合は、脊髄モニタリング認定医ホームページなどでお知らせします。

1. 弘前大学
2. 東京女子医科大学東医療センター
3. 東京医科歯科大学
4. 杏林大学
5. 浜松医科大学
6. 名古屋大学
7. 和歌山県立医科大学
8. 広島市立安佐市民病院
9. 山口大学
10. 高知大学
11. 久留米大学
12. 奈良県立医大
13. 関西医科大学
14. 村山医療センター

Q28 秋のモニタリングハンズオンセミナーは何時間程度のセミナーでしょうか。

A28 施設によって異なりますが、手術見学+講義にておおよそ4-6時間程度となり、その後1時間程度の試験があります。

Q29 秋のモニタリングハンズオンセミナーに特別な持ち物はありますか。

A29 受講にはとくにはありませんが、講習終了後、ほぼすぐに試験となりますので、筆記用具ほか、試験に必要なものは持参してください。